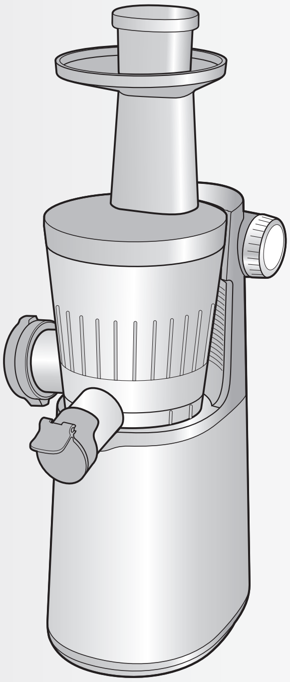
SHARP®

スローージューサー 家庭用

取扱説明書

形名
イージェイ　ジー　ピー
EJ-GP1



HEALSIO
ヘルシオ グリーンプレッソ

もくじ

		ページ
はじめに	この製品でできること	2
	上手に使うために	2
	初めてお使いの前に	3
	安全上のご注意	4
	使用上のご注意	5
使いかた	各部のなまえ・付属品	6
	組み立てかた	8
	ジュースを絞る前に	12
	ジュースの絞りかた	14
	フローズンを作る前に	16
	フローズンの作りかた	18
必要なときに	お手入れ	20
	故障かな？	26
	保証とアフターサービス	30
	仕 様	30
	お客様ご相談窓口のご案内	31
		裏表紙

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書(保証書付)をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ご使用の前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

●この取扱説明書(保証書付)は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

※業務用として、使用しないでください。

HEALSIO ヘルシオ グリーンプレッソ　HEALSIO Greenpresso のロゴおよびヘルシオグリーンプレッソはシャープ株式会社の商標です。

製品登録のお願い

オンラインでの各種サポートサービスをご利用いただくために、〈SHARP i CLUB〉で
ご愛用製品の登録をお願いいたします。（登録無料）

http://iclub.sharp.co.jp/m/

スマートフォンや
携帯電話はこちらから

この製品でできること

ゆっくりと食材を押しつぶす「低速圧縮絞り」(コールドプレス)でおいしさと栄養そのままに、
野菜、果物などのジュースを絞ることができます。

「果物/野菜」と「葉物/フローズン」の2種類の切り換えダイヤルがあります。
「葉物/フローズン」を選ぶと葉野菜を細かく刻まずにそのまま投入することができて、
手軽にお好みの青汁が作れます。

上手に使うために

失敗しない・困らないためにお守りください

説明書の内容をよくお読みください

困った!

① ジュース(フローズン)が出てこない!

② フタが開かない!

③ タンクがはずれない!

④ 回転が止まってしまった!

⑤ 電源が入らない!

⑥ 部品(フィルター、タンクなど)が破損した!

☑ **食材を詰め過ぎないで!**
少しずつ、間隔をあけて

☑ **正しく、組み立てを!**
説明ページでじっくり確認

☑ **食材に合った投入方法で!**
切りかた、投入できないもの

☑ **こまめにお手入れを!**
長く使っていただくために

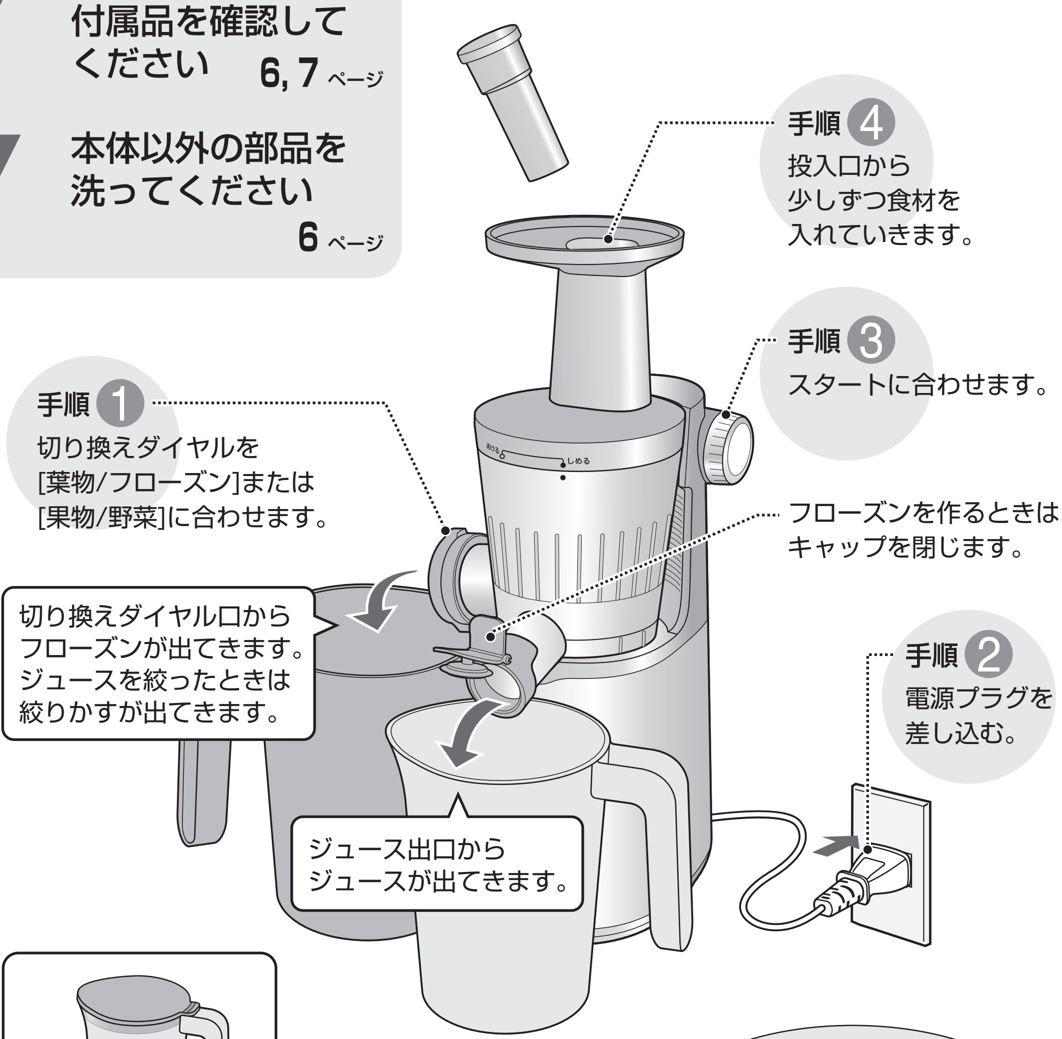
初めてお使いの前に

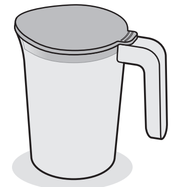
1 安全上のご注意、使用上のご注意をお読みください 4, 5 ページ

2 本体の各部品と付属品を確認してください 6, 7 ページ

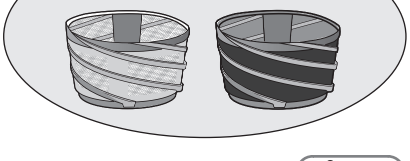
3 本体以外の部品を洗ってください 6 ページ

使いかたイメージ





一時保存の場合、ジュースカップ(透明)にフタができます。



用途に応じて使い分けます 9 ページ

安全上のご注意 必ずお守りください

（　　）の数字は、主な説明のあるページを示しています。

人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたで生じる内容を、次のように区分して説明しています。

⚠ **警告**	「死亡または重傷を負うおそれがある」内容。
⚠ **注意**	「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。

■お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。

⊘	してはいけないこと。
❗	しなければならないこと。

⚠ 警告 感電や漏電、発火などによる事故やけがを防ぐために

分解・修理・改造はしない

分解禁止

- **自分で絶対に分解・修理・改造をしない** (感電・火災・けがの原因)
  修理は、お買いあげの販売店、またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。(31ページ)

子供だけで使わせない

- **乳幼児の手の届く所で使用・保管をしない**
  (感電やけが、小さな部品を誤って飲み込み、窒息などのおそれ)

本体を水でぬらさない

水ぬれ禁止

- **本体を水につけたり、水をかけたりしない**
  (感電・ショート・故障の原因)

異常・故障時には、直ちに使用を中止する

- **すぐに電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼する**
  (発煙・発火・感電・けがのおそれ)
  - 電源プラグやコード、本体が異常に熱くなる。
  - コゲ臭いにおいがしたり、異常な音や振動がする。
  - タンクなどの部品にひびや破損箇所がある。
  - その他の異常や故障がある。

電源プラグやコードは、乱暴に扱わない 定期的にほこりを取り除く

- **ゆるんだコンセントは使わない**
- **傷んだ電源プラグやコードは使わない**
- **傷付けたり、変形させない**
- **収納時にコードを本体に巻き付けない**
  無理に曲げる・引っ張る・ねじる・束ねる・重い物をのせる・挟み込む・加工する・高温部に近付けるなどをしない。
  (火災・感電・ショートの原因)
- **定格電圧(交流100V)以外で使わない**

- **電源プラグは根元まで、確実に差し込む**
  (発火の原因)
- **定期的に電源プラグに付いたほこりを乾いた布で拭き取る**
  (ほこりがたまると、火災の原因)

ぬれ手禁止

- **ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない**
- **ぬれた手で電源スイッチを触らない**
  (感電・故障の原因)

投入口などに指・スプーン・はしなどの異物を突っ込まない

接触禁止

- **投入口・ジュース出口・切り換えダイヤル口(絞りかす/フローズン出口)に指・スプーン・はし・清掃用ブラシなどの異物を入れて運転しない**
  (故障・けがの原因)

⚠注 意 けがを防ぎ、家財などを守るために

安全な場所で使用する

- 丈夫で安定した水平な場所に置く
  (騒音や振動、ガタ付きの原因)

- 不安定な場所で使わない
  (落下によるけがや製品の破損の原因)
- 水のかかる所や火気の近くで使わない
  (変色・変形・感電・火災の原因)
- 壁や家具の近くで使わない
  (壁や家具の汚れの原因)

電源プラグは正しく扱う

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かない
  (断線やスパークして、発火の原因)

- 電源プラグを抜き差しするときは、必ず電源スイッチが「停止」の状態でおこなう (けがの原因)

プラグを抜く

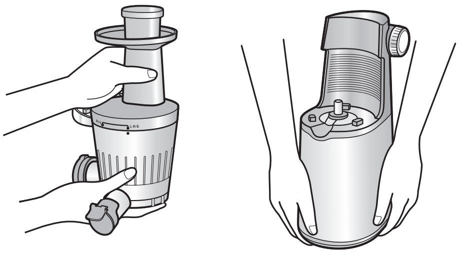
- 部品の取り付け・取りはずし・お手入れは、必ず電源スイッチを「停止」の状態にし、電源プラグをコンセントから抜いておこなう
  (感電・けがの原因)
- 使用時以外は、電源スイッチを「停止」の状態にし、電源プラグを抜く
  (絶縁劣化などで感電や漏電・火災の原因)

その他

- 運転中に移動させない
  (けが・破損の原因)
- 穀物粉砕用として使用しない
- カラ(食材なし)の状態で1分以上運転をしない
  (破損の原因)
- 桃のような大きく固い種があるものはそのまま投入しない
  (故障の原因)
- 運転中はフタを開けない
  (けがの原因)
- 直射日光が当たる場所で使用、保管しない (製品の変色の原因)

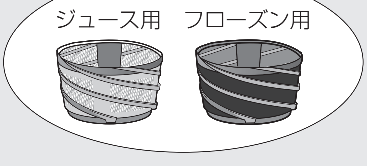
- 移動させるときは、電源プラグを抜き、本体とタンクを分けて持つ
  (落下によるけがや製品の破損の原因)

正しい持ちかたの例



使用上のご注意

●ジュース用のフィルターとフローズン用アタッチメントは必ず、用途に合わせて使い分けてください。(破損・故障の原因)



●食材の投入方法をまちがえると以下の原因となりますので、操作の説明ページをよくお読みください。(12〜19ページ)

- 食材がタンク内に溜まり、ジュースやフローズンが出てこない。
- フタが開かなかったり、タンクが本体からはずれにくくなる。
- タンクに無理な力がかかり、ヒビや割れが発生する。(けが・破損の原因)
- 安全装置が働き、運転が停止する。(26ページ)

●フローズンは、冷凍室から出してすぐの食材を使わないでください。

- 室温に置き、包丁でサクッと切れる固さになってから投入しないと、食材の凍ったかけらが投入口から飛び出すおそれがあります。

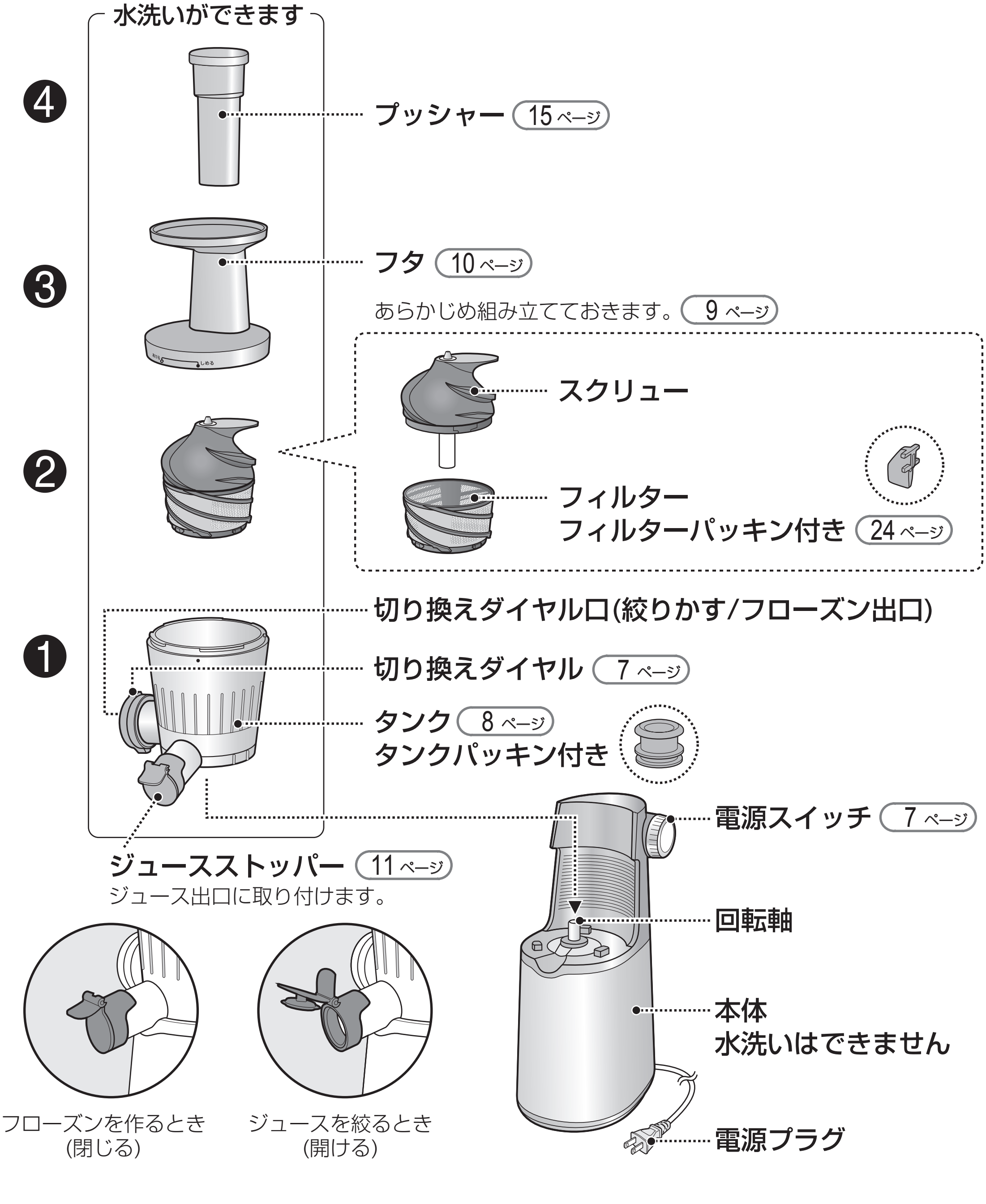
●切り換えダイヤルは目的に応じて切り換えてください。

- 間違えると上手にできません。(故障の原因)

各部のなまえ・付属品

ご使用の前に、本体以外の部品を洗ってください

❶→❹は本体にセットする組み立て順です。
お手入れ時に分解するときは、❹→❶の順で分解してください。
それぞれの部品についての説明は、参照ページをご覧ください。

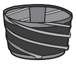


付属品

- **ジュースカップ**(黒)
- **ジュースカップ**(透明)
- **ジュースカップフタ**
- **ジュースストッパー**

ご使用の際には、
「**ジュースカップ・フタについて**」を
必ずお読みください。(20 ページ)

- **フローズン用アタッチメント**
  - フィルターと交換して使います。

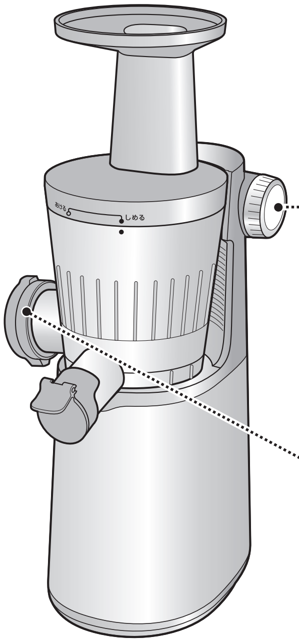


- **清掃用ブラシ**
  - ブラシ部分は、フィルター専用です。

- **取扱説明書(保証書付)**
- **メニュー集**

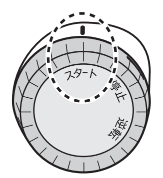
当商品は日本国内向けであり、日本語以外の取扱説明書／メニュー集はありません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

※ 本体・本体部品・付属品が、使用中に破損したり、紛失したときは、お買いあげの販売店へご依頼ください。(有料) (31 ページ)



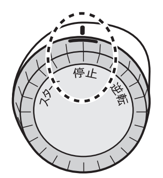
電源スイッチの使いかた

食材が詰まったときは、逆転に合わせます。
逆回転の操作 (29 ページ)



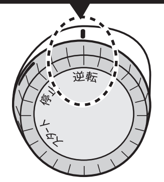
スタート

運転するとき



停 止

運転を止めるとき

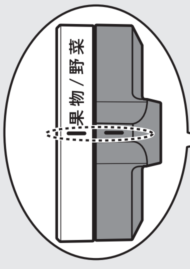


逆 転

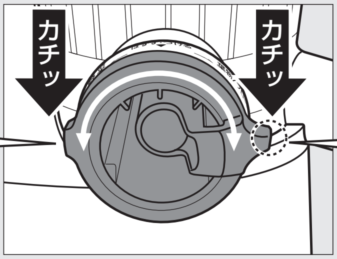
逆回転させるとき
離すと停止に戻ります。

切り換えダイヤルの合わせかた

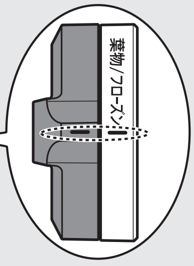
ダイヤルの両側にオレンジ色のラインと △ のマークが
付いています。



果物 / 野菜
に合わせるとき



両側左右に回して使います。
「カチッ」と鳴らして2つの
オレンジ色のラインを合わせます。



葉物 / フローズン
に合わせるとき

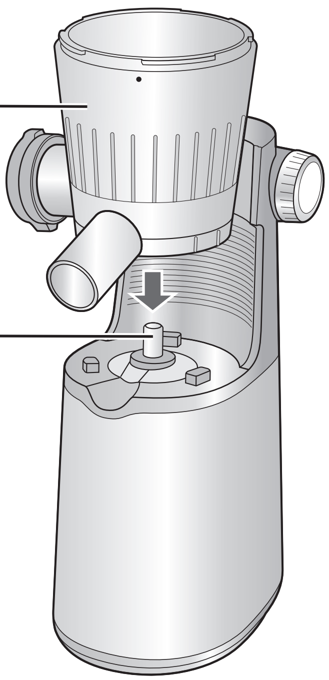
切り換えダイヤル
はずしかた(お手入れ)
(22 ページ)

組み立てかた（1）

安定した水平な場所で組み立てます

タンク

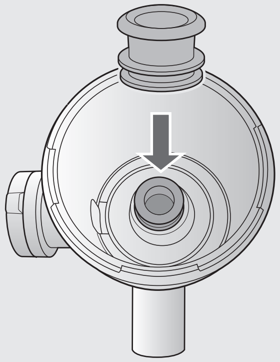
タンクを本体(回転軸)にセットする



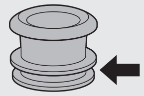
チェック!

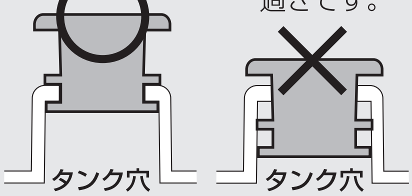
タンクパッキンを内側と底面から確認する

タンクが正しくセットできていないとスクリューがうまく差し込めずフタが閉まりません。フタが正しく閉まらないと、電源が入りません。



正しく取り付けられていない場合は、はめ直してください。





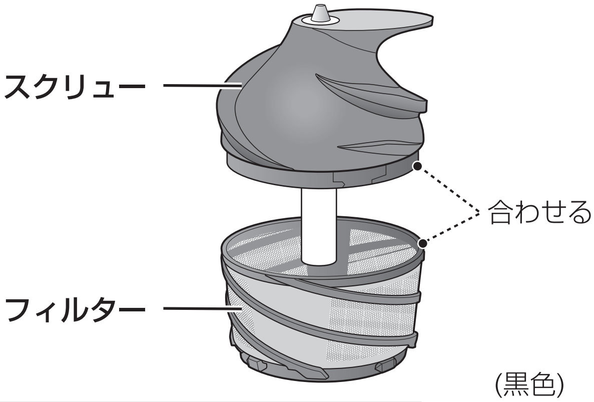
[断面図]

※工場出荷時に取り付けられています。

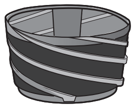
スクリュー／フィルター

❶ スクリューとフィルターを組み立てる

※工場出荷時に組み立てられています。



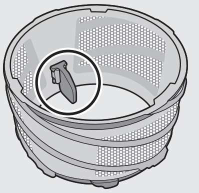
フローズンのときは、
フローズン用アタッチメントを使います。
間違えてフィルターを使うと破損します



チェック!

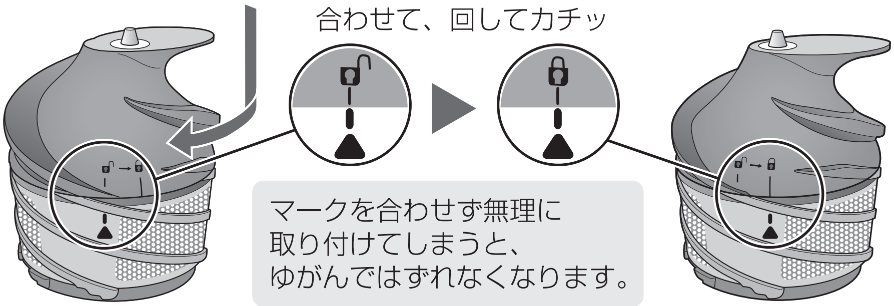
フィルターにフィルターパッキンが正しく付いているか確認する

フィルターパッキンの
取り付けかた 24ページ



※工場出荷時に取り付けられています。

❷ 🔓と ▲ マークを合わせて、スクリューを左に回し、ロックする

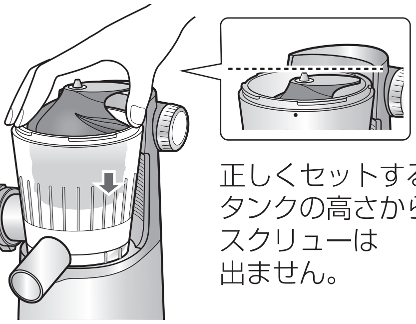


マークを合わせず無理に
取り付けてしまうと、
ゆがんではずれなくなります。

❸ 組み立てたスクリューとフィルターをタンク内の回転軸に差し込む

左右に回しながら、タンクの高さから
スクリューが出なくなるまで差し込みます。
差し込みが不十分だと、フタが閉まらず
電源が入りません。

スクリューとタンクのすき間に
指をはさまないように、
ご注意ください。



正しくセットすると
タンクの高さから
スクリューは
出ません。

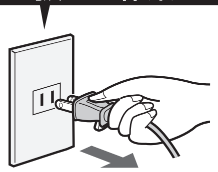
組み立てかた (2)

安定した水平な場所で組み立てます

フタ

タンクの●とフタの○マークを合わせて、「カチッ」と音がするまで左に回す

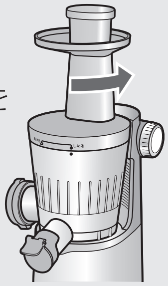
電源プラグを抜いて作業する

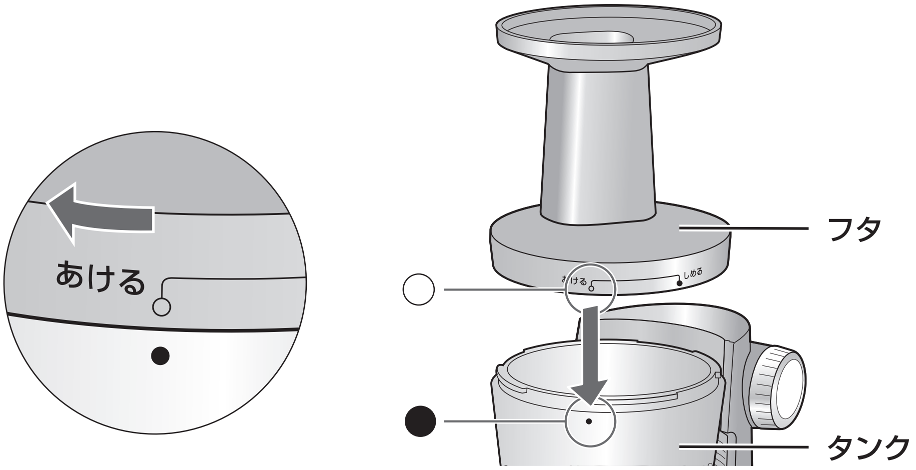


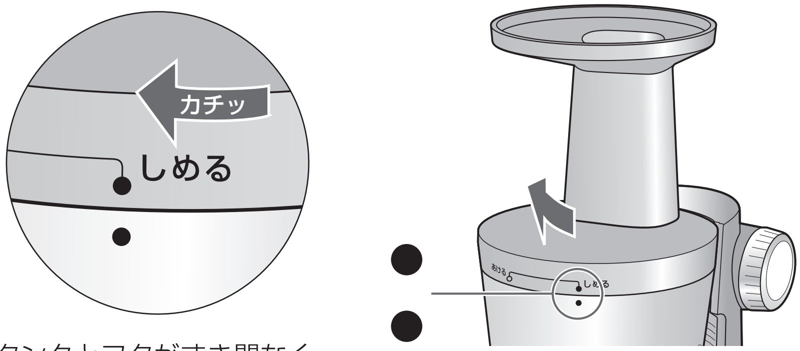
チェック!

フタが正しく閉まっていないと電源が入りません。

ご購入時にフタが開けにくいときは、切り換えダイヤルをにぎり、フタを反時計回りに回してください。



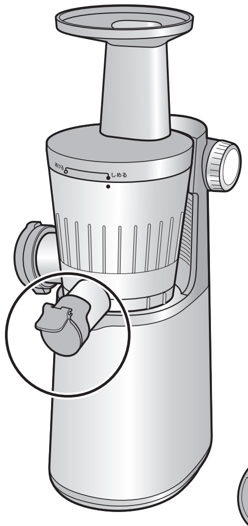


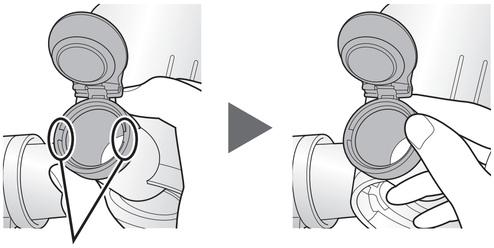


タンクとフタがすき間なく、閉まっていることを確認してください。

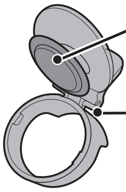
[組み立て完成]

ジュースストッパー



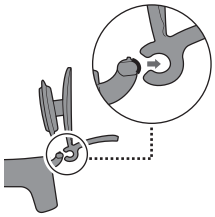


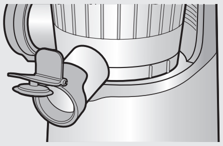
ジュース出口の溝に合わせて
ジュースストッパーを差し込みます。



パッキンが付いています。
引っ張らないでください。

無理な力をかけないでください。
はずれた場合は、右のイラストの
ように合わせて取り付けてください。

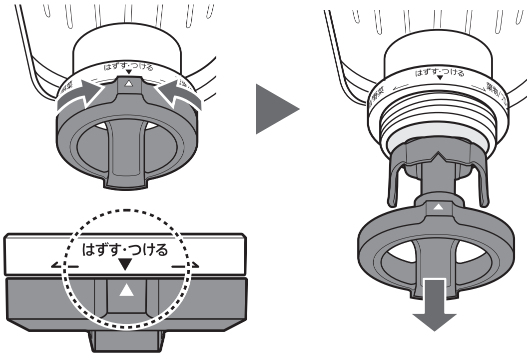




ジュースを絞るときは初めから開けておきます。
途中で開くと、ジュースが飛び散ることがあります。
フローズンを作るときは、必ず閉じてください。
フローズンは切り換えダイヤル口から出ます。

切り換えダイヤル

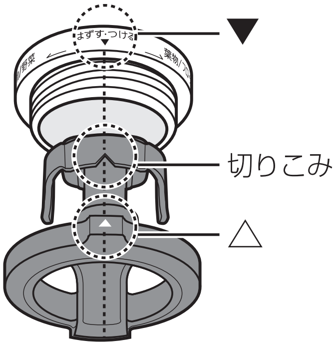
ダイヤルの△を「はずす・つける」の▼に合わせると抜けます



通常、切り換えダイヤルは左右どちらかのオレンジラインに合わせておきます。7 ページ
(ダイヤルの △ マークを上にした状態では、抜けて落下することがあります)

チェック!

差し込むときは、下記3つの部分がまっすぐ並ぶように合わせて、奥まで差し込み、回します。



※挿入が不十分で回すと破損の原因になります。

ジュースを絞る前に

果物や野菜でジュースを絞る

上手にジュースを絞っていただくために
次のご注意・コツをよくお読みください。

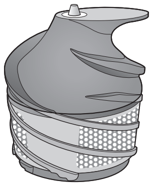
食材の切りかたは、
メニュー集
4～7ページを
ご覧ください

1 次の食材は、絶対に投入しないでください

- **氷**　● **乾燥大豆などの豆類**　● **桃などの種**
- **柿**(種を完全に取り除くことができないおそれ)
- **冷凍した食材**
- メニュー集に記載のない**乾燥食材**

けがのおそれ
部品が破損します

2 フィルター(銀色)を使う



3 切り換えダイヤルを正しく合わせる　オレンジ色のラインに合わせ「カチッ」と音で確認

設定をまちがえると
上手くジュースが
出ません

- **果物、野菜は、[果物 / 野菜]に合わせる**
  野菜の中でも葉物は[葉物 / フローズン]に合わせます。
- **少しでも葉物を混ぜるときは、[葉物 / フローズン]に合わせる**
- **葉物野菜・しょうがは、[葉物 / フローズン]に合わせる**

4 上手にジュースを絞るコツ

詰め過ぎは、
ジュースが
出にくくなります。

- **果物、野菜(葉物以外)、しょうがは、少しずつ、5秒ぐらいの間隔で投入します。**
  スムーズにスクリューが引き込み、ジュースが出やすくなります。
  また、食材を組み合わせるときは、交互に投入します。
- **葉物野菜は、投入した食材がすべてタンク内に引き込まれてから、次を投入します。**

※一度に多く入れてしまうと食材が詰まり、運転が止まります。
また、フタが開かなかったり、本体からタンクをはずせなくなります。

5 知っておいてください

- 新鮮な食材をお使いください。食材の鮮度や収穫時期などによって、ジュースの量は変わります。 ジュース量の目安 28ページ
- 絞りかすが、ジュースに混じることがあります。また、葉物野菜を丸ごと投入したときは、長いせんいがジュースに混じることがあります。
  気になる場合は、刻んでから投入するか、こしてからお召し上がりください。
- 大豆などは、あらかじめ加熱されたものや、十分に水に浸して柔らかくしたものを使います。
- 水煮した大豆、バナナなどは水分が少ないため、水や牛乳と一緒に投入口に入れてください。水や牛乳と一緒に投入しないと、うまくジュースになりません。
- りんごなど褐変しやすい果物は、ジュースにしたあと、時間の経過とともに茶色くなります。
- にんじんは、水分が少なく、せんいが多いので、絞りかすが多く出ます。
- 葉物野菜はせんいが多いため、水分の多い果物といっしょに絞ることをおすすめします。また、葉物野菜がスクリューとタンクの隙間に入り込み、うまく絞れない場合があります。その場合は「**逆回転の操作**」29ページ をおこなってください。
- 食材によってジュースの表面に泡が立つことがありますが、そのままお召し上がりいただけます。気になる場合は、スプーンなどで泡を取り除いてください。
- キャベツやケールなどは、運転中に大きな音がする場合があります。
- バナナ、キウイ、いちごなどは、果肉成分が絞りかすの方に多く含まれたり、タンク内に残ることがあります。
- 食材を投入した際や、フタを取りはずすときは、果汁などが飛び散ることがありますので、ご注意ください。

ジュースの絞りかた

⚠警告

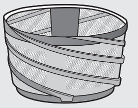
投入口などに指・スプーン・はしなどの異物を入れて運転しない
接触禁止
【けが・故障の原因】

準備 ①②③④ ▼ スタート ⑤

例 葉物野菜でジュースを絞るとき

チェック!

- フィルターを使います。 9 ページ



(銀色)

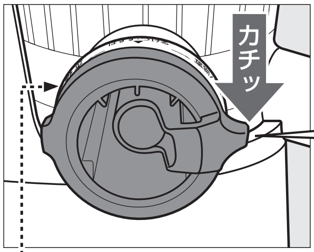
- フィルターパッキンとタンクパッキンが正しく取り付けられていますか？(漏れを防ぎます) 8, 9 ページ

- ジュースを絞る前に 12, 13 ページ のご注意を読まれましたか？故障の原因となる食材や、投入時のご注意を記載しています。

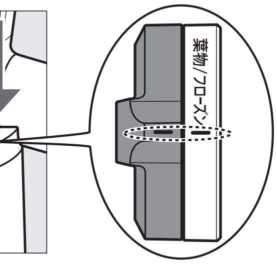
1 切り換えダイヤルを[葉物/フローズン]に合わせる

- 「カチッ」と音がするのを確認して合わせてください。
- ずれていたり、ダイヤルを合わせまちがえるとジュースが出てきません。
- 運転中は絶対に回さないでください。

切り換えダイヤル

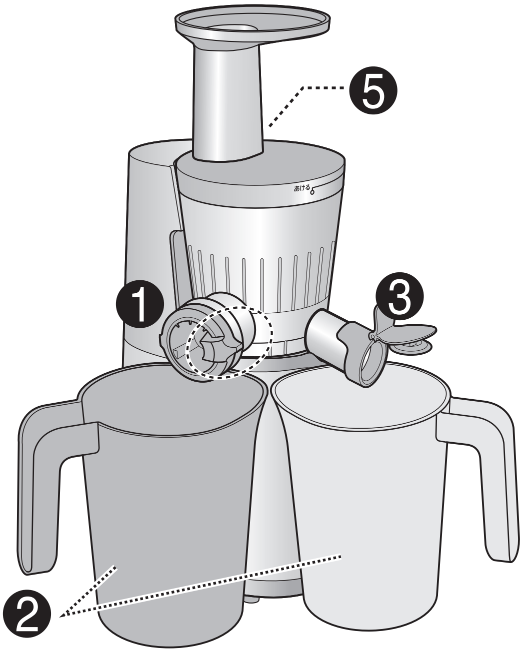


[果物/野菜]のときはダイヤルを回し、左右反対側のオレンジ色のラインに合わせます。



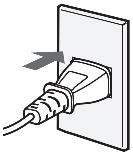
2つのオレンジ色のラインを合わせます。
(横からみたところ)

2 切り換えダイヤル口とジュース出口の下にジュースカップを置く



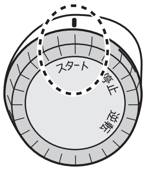
3 ジューストッパーを開く

4 電源プラグを差し込む



5 電源スイッチを「スタート」に合わせる

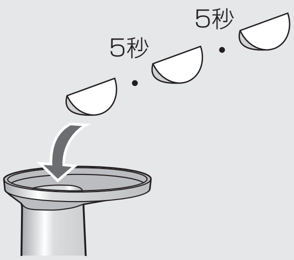
運転を開始します

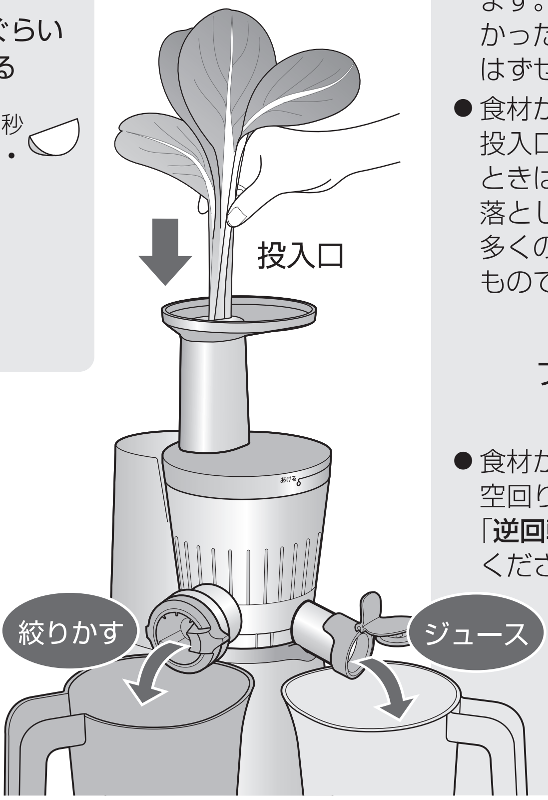


運転中

葉物野菜は、投入した食材がすべてタンク内に引き込まれてから、次を投入する

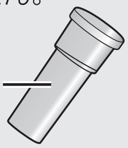
果物、野菜(葉物以外)、しょうがを絞るときは、**少しずつ**、5秒ぐらいの間隔で投入する



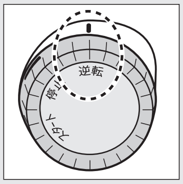


チェック!

- 一度に多く入れてしまうと食材が詰まり、運転が止まります。また、フタが開かなかったり、本体からタンクをはずせなくなります。
- 食材が自然に引き込まれず投入口にとどまっているときは、プッシャーで落とし込んでください。多くの量を押し込むためのものではありません。



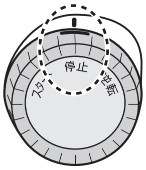
- 食材が途中で詰まったり、空回りしているときは、「**逆回転の操作**」をおこなってください。29ページ



スクリューが食材をゆっくり取り込み、ジュースと絞りかすがそれぞれ出てきます。絞りかすが出にくくなってきたら、電源スイッチを「停止」に合わせ、タンクのお手入れ(絞りかすを取り除く)をおこなってください。食材にもよりますが２人分(ジュース約400mL)程度絞るとお手入れの目安です。22ページ

終了

止めるときは、電源スイッチを「停止」に合わせる



- ご使用後は、お手入れしてください。20ページ

フローズンを作る前に

凍った果物・野菜などで作る

上手にフローズンを作っていただくために
次のご注意・コツをよくお読みください。

食材の下ごしらえは、
メニュー集
22～23ページを
ご覧ください

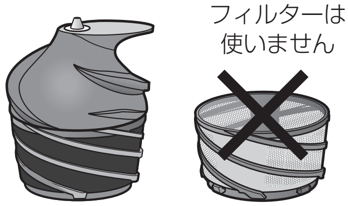
1 次の食材は、絶対に投入しないでください

- 氷
- 桃などの種
- 冷凍室から出してすぐの食材

けがのおそれ
部品が破損します

2 フローズン用アタッチメント (黒色)を使う

フィルターを使うと破損します。
必ず、フローズン用アタッチメントに替えてください。



フィルターは
使いません

3 切り換えダイヤルの設定を正しく合わせる オレンジ色のラインに合わせ「カチッ」と音で確認

設定をまちがえると
上手くフローズンが
出ません

- [葉物 / フローズン]に合わせる

4 上手にフローズンを作るコツ

詰め過ぎは、
フローズンが
出にくくなります。

- 食材は、少しずつ、5秒ぐらいの間隔で投入します。
  食材がタンクの半分まで減ってから、次の食材を投入します。

5 知っておいてください

食材は、あらかじめ冷凍させておきます

- 食材を投入口に入る大きさに切り、フリーザーパックなどに入れ、食材が重ならないように平らにして冷凍します。
  投入前にくっついている場合は、手で割ってから投入します。
- ヨーグルトなどやわらかいものは、製氷器を使うと便利です。
  (水やジュースなどの液体は使えません)
- 冷凍室から出してすぐの食材は使えません。室温に2～3分置いてください。
  包丁でサクッと切れる固さが投入の目安です。
- 固い食材は、運転中に大きな音がする場合があります。
- 投入口をのぞき込まないでください。(食材が飛び出すおそれがあります)
- 食材の詰め過ぎは、タンクも詰まりやすくなり、運転途中で停止することがあります。
  →運転途中で停止した 26 ページ

フローズンの作りかた

⚠ 警告

接触禁止

投入口などに指・スプーン・はしなどの異物を入れて運転しない

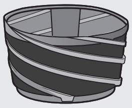
【けが・故障の原因】

例 冷凍の「果物」でフローズンを作るとき

準備①②③④ ▼ スタート⑤

チェック!

● フローズン用アタッチメントを使います。(9 ページ)


(黒色)

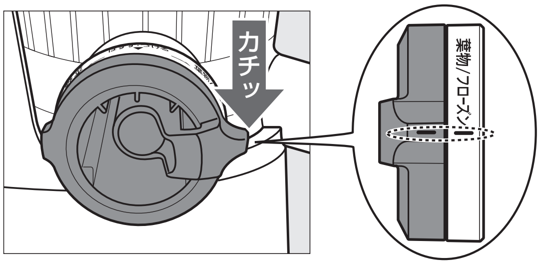
フローズンのときは、
フローズン用アタッチメントを使います。
間違えてフィルターを使うと破損します

● フローズンを作る前に(16, 17 ページ)のご注意を読まれましたか?
故障の原因となる食材や、投入時のご注意を記載しています。

1 切り換えダイヤルを[葉物/フローズン]に合わせる

- 「カチッ」と音がするのを確認して合わせてください。
- ずれていたり、ダイヤルを合わせまちがえるとフローズンが出てきません。
- 運転中は絶対に回さないでください。

切り換えダイヤル

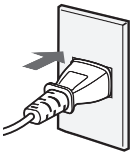


2つのオレンジ色のラインを合わせます。
(横からみたところ)

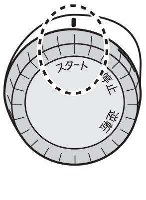
2 切り換えダイヤル口の下にジュースカップを置く

3 ジュースストッパーを閉じる

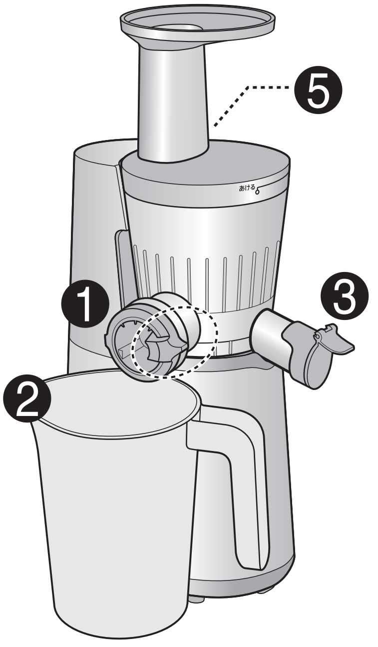
4 電源プラグを差し込む



5 電源スイッチを「スタート」に合わせる



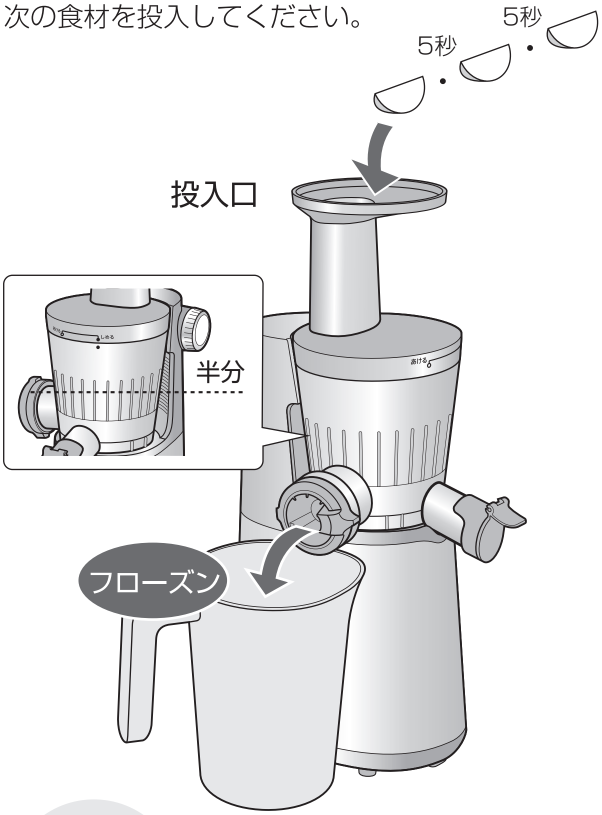
運転を開始します



運転中

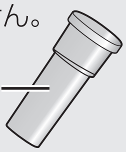
食材を少しずつ、5秒ぐらいの間隔で投入口に入れる

食材がタンクの半分まで減ってから
次の食材を投入してください。

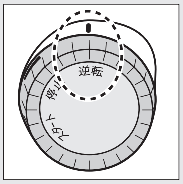


チェック!

- 一度に多く入れてしまうと食材が詰まり、運転が止まります。また、フタが開かなかったり、本体からタンクをはずせなくなります。
- プッシャーはスムーズに投入しにくい食材を落とし込むときにお使いください。
多くの量を押し込むためのものではありません。



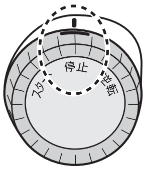
- 食材が途中で詰まったり、空回りしているときは、「**逆回転の操作**」をおこなってください。29ページ



スクリューが食材をゆっくり取り込み、フローズンが切り換えダイヤル口から出てきます。
スクリューの回転がゆっくりになったときは、食材の投入をいったん止めてください。
通常の速度に戻ったら、再び投入してください。食材にもよりますが投入食材が300ｇ程度になるとタンクのお手入れ目安です。22ページ

終了

止めるときは、電源スイッチを「停止」に合わせる



- ご使用後は、お手入れしてください。20ページ
- タンク、フローズン用アタッチメント内に残った食材はヘラ等、やわらかいもので取り出してください。

お手入れ（1）

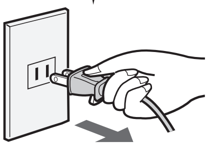
⚠ 注意

必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなう

【感電・けがの原因】

使ったら、早めにお手入れを！

電源プラグを抜く



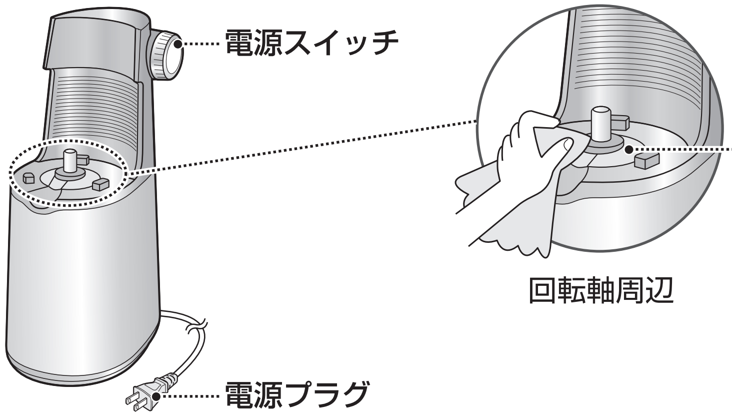
次のものは使わないでください

(塗装のはがれ・傷付き・変色・内部に液が浸透し故障の原因)

シンナー ベンジン アルコール	磨き粉 塩素系漂白剤	住宅用・家具用・ 換気扇用合成洗剤 酸性・アルカリ性洗剤	スプレー式洗剤 金属タワシ 硬めのスポンジ メラミンスポンジ

本体

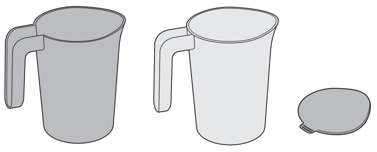
固く絞ったふきんで水拭きする
水洗いしないでください



- **回転軸周辺・電源スイッチ**
  スプレー式の洗剤を直接かけたり、水分を多く含んだ布で拭かない。(液が浸透し、故障の原因)
- **電源プラグ**
  乾いた布でほこりを拭き取る。(ほこりがたまると、火災の原因)

ジュースカップ・フタについて

- **ジュースカップ**(黒)
- **ジュースカップ**(透明)　(最大目盛1000mL)
- **ジュースカップフタ**
  - ジュース(フローズン)用、絞りかす用にお使いください。
    用途以外には使用しないでください。(電子レンジ加熱不可)
  - 目盛りは目安のため、計量カップとしては使えません。
  - ジュースカップフタは、ジュースカップ(透明)用です。
    ジュースを入れて冷蔵室で冷やすことができます。
    ただし、密閉できるものではありません。



洗える部品について

やわらかいスポンジで水洗いする

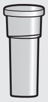
「予備洗浄」もお試しください。(22ページ)

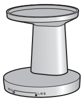
● 汚れが取れにくい場合は、台所用合成洗剤(中性)を使います。

食器洗い乾燥機などのご使用について

プッシャー以外の部品は使えますが、
下記の各部品の耐熱温度を参考に、食器洗い乾燥機・食器乾燥器の取扱説明書をよくお読みになってからお使いください。
(絞りかすは取り除き、予洗いが必要です)

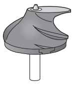
✕ **プッシャーは、食器洗い乾燥機・食器乾燥器で洗わないでください。**



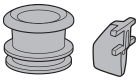


フタ
(耐熱温度 95℃)

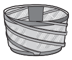
ジューサーストッパー
(耐熱温度 100℃)



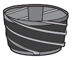
スクリュー
(耐熱温度 200℃)



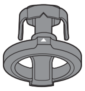
パッキン
(耐熱温度 200℃)



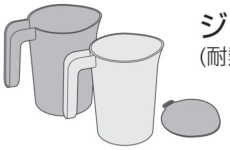
フィルター
(耐熱温度 200℃)



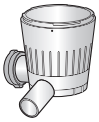
フローズン用アタッチメント
(耐熱温度 200℃)



切り換えダイヤル
(耐熱温度 100℃)



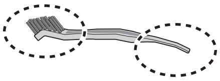
ジュースカップ、フタ
(耐熱温度 90℃)



タンク
(耐熱温度 100℃)

フィルター洗い
専用です。

清掃用ブラシ
(耐熱温度 ブラシ95℃)



ジュース出口、切り換えダイヤル口の
かす詰まりを取るときに使います。

においや汚れが気になるときは

酸素系漂白剤 が使えます。

ご注意

● 清掃用ブラシのブラシ部分はフィルター専用です。
他の部分を洗うと傷が付くおそれがあります
● 食材の色素によって部品に色が付くことがありますが、
早目にお手入れすると取れやすくなります。

お手入れ (2)

⚠ 警告

接触禁止

運転中、切り換えダイヤル口に指・スプーン・はしなどの異物を入れない

【けが・故障の原因】

「予備洗浄」について

投入口から水を流し入れて運転し、タンク内に残った絞りかすを浮かし、流し出す方法です。絞りかすの詰まりで、切り換えダイヤルがはずせなかったり、本体からスクリューやタンクがはずれにくくなった場合におすすめです。

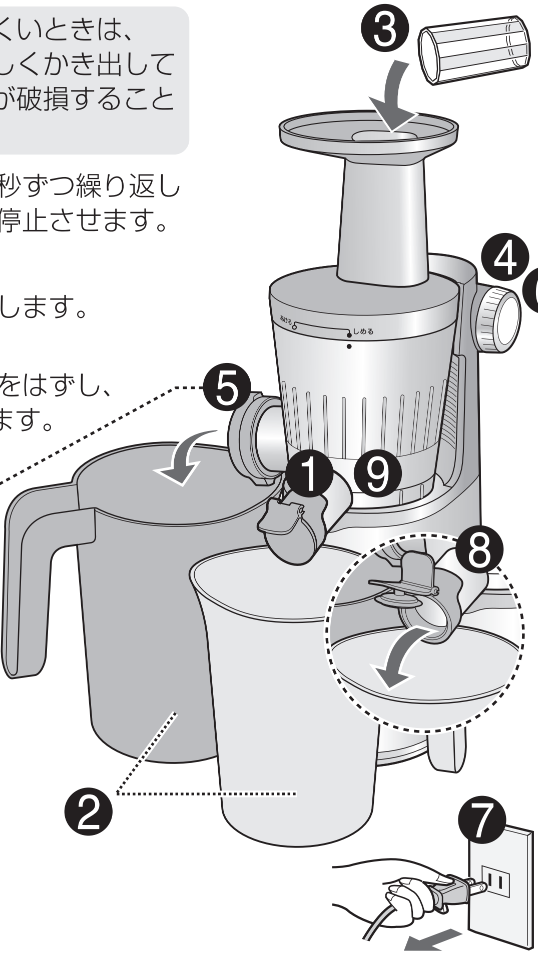
絞りかすをお料理などに使う場合は、**予備洗浄前**にあらかじめ切り換えダイヤル口からかき出しておいてください。(運転中は、絶対におこなわないでください。けが・故障のおそれ)

手順

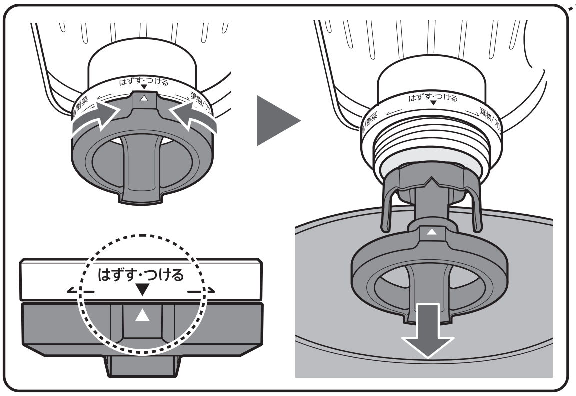
1. ジュースストッパーを閉じます。
2. 切り換えダイヤル口とジュース出口の下にカラのジュースカップを置きます。
3. 投入口から水を少しずつ流し込み、タンクの８分目まで水を入れます。
(入れ過ぎると洗浄中にあふれることがあります)
4. 10秒程度運転し、停止させます。(「スタート」→10秒程度→「停止」)
5. 切り換えダイヤルの △ マークが上にくるように回し、「はずす・つける」の ▼ と合わせて引き抜きます。

   切り換えダイヤルが回せない場合や抜けにくいときは、清掃用ブラシの柄の部分で絞りかすをやさしくかき出してください。奥まで強く差し込むとパッキンが破損することがあります。(25 ページ)

6. さらに水を足して、「スタート」⇔「逆転」を数秒ずつ繰り返しながら、タンク内の絞りかすを流し出して、停止させます。
7. 電源プラグを抜きます。
8. ジューススストッパーを開き、溜まった水を流します。
(飛び散りに注意してください)
9. ストッパーを閉じてフタをしたままのタンクをはずし、シンク(流し台)に持っていき、分解して洗います。



切り換えダイヤルのはずしかた



はずすときは、内容物の飛び散りに注意してください。ふきん等をご準備ください。

⚠注 意

必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなう

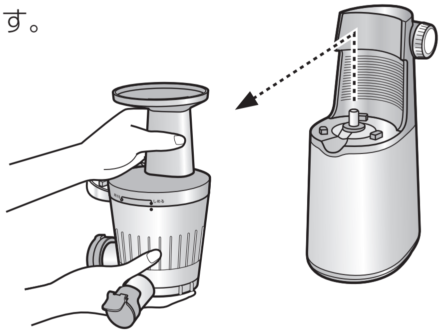
プラグを抜く

【感電・けがの原因】

直接タンクをはずして洗う方法

タンク

タンクを本体からはずし、シンクに持っていきます。

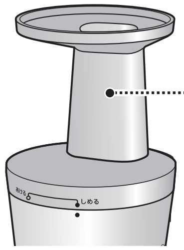


● **はずせないとき**

「**予備洗浄**」をお試しください。22ページ

フ タ

タンクからフタをはずします。

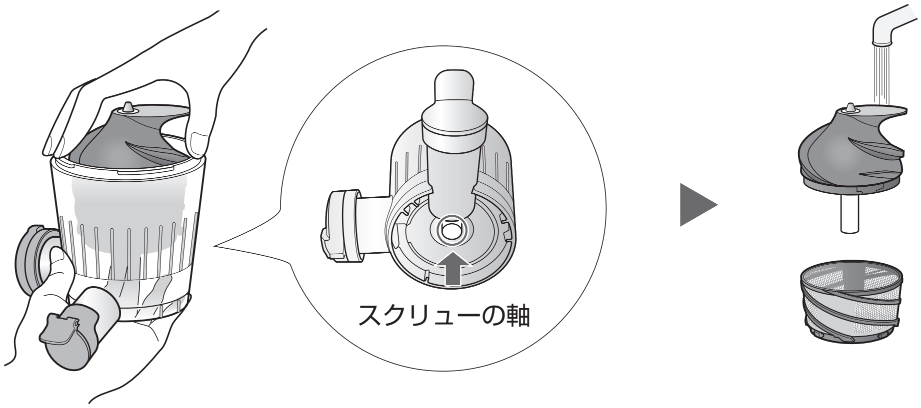


● **フタが開かないとき**

- 食材が詰まっているときは、タンクを本体にセットし、「**逆回転の操作**」をおこなってください。29ページ
- フローズンのときは、少し時間をおいて再度フタを開けてください。
  食材が溶けると開けやすくなります。

スクリュー

タンクから取り出しにくい場合は、タンク底面から
スクリューの軸を指の腹を使って真上に押し上げます。
フィルターをはずして洗います。



お手入れ (3)

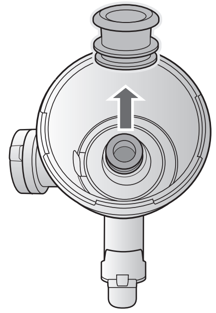
> ⚠ 注 意
> プラグを抜く
> 必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなう
> 【感電・けがの原因】

お手入れ後は、水気を取る

タンクからスクリューをはずしたあと、タンクパッキンのお手入れもします。

タンクパッキン

1. タンク穴から抜き取って、やわらかいスポンジで水洗いする。
2. タンクのお手入れ後は、タンクパッキンの水気も拭き取り、溝の狭い方から少しずつタンク穴にはめる。8ページ



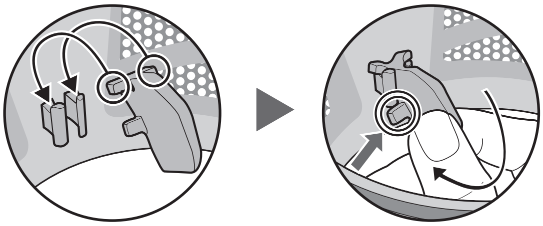
フィルター

内側に付いているフィルターパッキンを取りはずして洗う。

フィルターパッキン

取り付けかた

洗った後は、パッキンの○部分を引っかけ、そのまま下に伸ばしながら◎部分を下側に引っかけます。



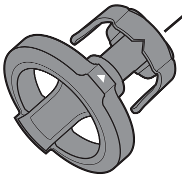
ご注意

- 取りはずしたジュースストッパー 25ページ やパッキン類は、放置せず元の位置に正しく取り付けてください。
  (紛失や幼児による誤飲のおそれ、故障・ジュース漏れの原因)
- パッキン類は、ご使用のたびにお手入れしてください。
  (カビや雑菌の繁殖のおそれ)
- しばらくご使用にならないときは、パッキン類をよく乾燥させてから保管してください。

切り換えダイヤル

はずしかた・取り付けかた 11ページ

無理な力をかけて洗わないでください。

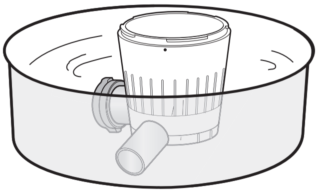


パッキンが付いています。
強く引っ張らないでください。

● はずせないとき(回せない)とき

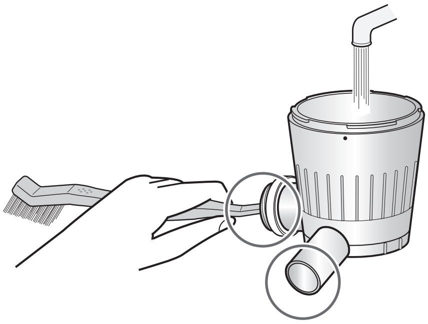
> 絶対に無理にはずそうとしないでください。
> (破損のおそれ)

ぬるま湯(約40℃)に浸けて
タンク内のかすをふやかしてから
はずしてください。

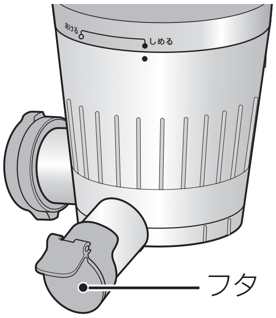


ジュース出口

切り換えダイヤル口、ジュース出口は、清掃用の
ブラシの柄の部分を差し込んで洗います。
ブラシ側でタンクを洗うと傷が付くおそれがありますので、おやめください。



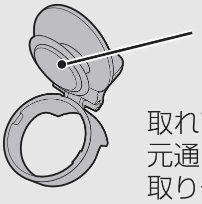
ジュースストッパー



取り付けかた 11ページ

フタを閉じて、両側をつまんで抜きます。
フタの部分を強く引っ張ると破損することがあります。

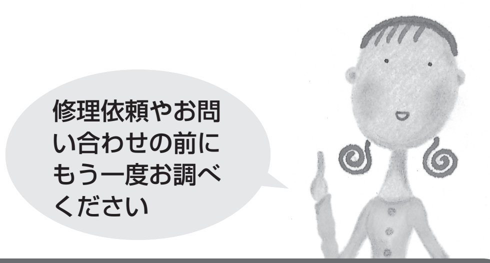
パッキンを引っ張らずにめくり、詰まっているものを取ります。
水洗い後、水気を取り、ジュース出口に取り付けておきます。



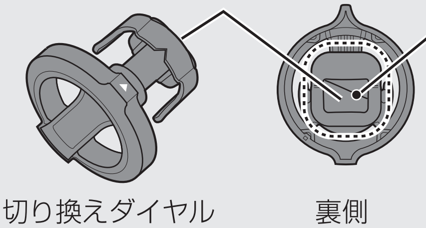
パッキンが付いています。
引っ張らないでください。

取れてしまった場合は、無理な力をかけないで
元通りにかぶせてください。
取り付けが不十分ですと、ジュース内に混じり
誤飲のおそれがあります。

故障かな？(1)



こんな場合	故障ではありません
動かない (電源が入らない)	● 電源プラグが抜けていませんか？ ● フタは正しく閉まっていますか？ フタの○とタンクの●を合わせ、「カチッ」と音がするまで左に回してください。正しくセットしていないと、電源スイッチを「スタート」にしても動作しません。(10ページ)
運転途中で停止した (電源が切れた)	● フタは正しく閉まっていますか？ 電源スイッチを「停止」にして、フタを「カチッ」と音がするまで閉め直してから、「スタート」に合わせてください。 ● 食材を多めに入れていませんか？ 「**逆回転の操作**」をお試しください。(29ページ) ● 20～30分連続して運転していませんか？ 食材を入れ過ぎたり、長時間の連続運転をすると、モーターの保護装置がはたらき、自動的に停止します。 停止した場合は、次の操作をしてください。 ① 電源スイッチを「停止」にする ② 電源プラグを抜く ③ 食材を減らす(取り出す)…**フタが開かない** (下記参照) ④ 電源プラグを差し、電源スイッチを「スタート」に合わせる。スタートしない場合は、電源スイッチを「停止」にして5分程度たってから、もう一度「スタート」に合わせてください。
フタが開かない	● フタにロック機能がついているものではありません。 切り換えダイヤルのタンク部分をにぎり、フタを反時計回りに回してください。(使い始めは固い場合があります) ● タンクの中に食材が詰まっていませんか？ 「**逆回転の操作**」(29ページ) をお試しください。 ● フローズンのときは、少し時間をおいて再度フタを開けてください。食材が溶けると開けやすくなります。
フタが閉まらない	● タンクパッキンを正しく取り付けていますか？ (8ページ) ● スクリューとフィルター(またはフローズン用アタッチメント)が正しく取り付けられていますか？ (9ページ) ● 組み立てられたスクリューとフィルターは、タンクにしっかりと差し込まれていますか？ (9ページ)
運転中に大きな音がする	● モーターやスクリューが回転する音です。 大きく感じることがありますが、異常ではありません。 食材(キャベツやケールなど)により、大きな音がする場合があります。

こんな場合	故障ではありません
切り換えダイヤルが回らない **タンクから取りはずせない**	● お手入れの切り換えダイヤル・はずせない(回せない)ときを参考にしてはずしてください。25 ページ 絶対に無理にはずそうとしないでください。(破損のおそれ)
タンクと本体の隙間からジュースが漏れる	● タンクパッキンが、正しく取り付けられていますか？8 ページ
運転中に「ウゥーン」などのうなり音がする	● 食材をゆっくり少しずつ入れていますか？ ● フローズンの場合は、包丁でサクッと切れる固さの食材を入れていますか？ 入れるときは、食材がタンクの半分まで減ってから次の食材を投入してください。
運転中にタンクや本体が揺れる	● タンクと本体が分離式のため、置き場所や、負荷の大きな食材の投入などで、少し揺れることがあります。
部品に傷がある	● 傷のように見えるものがありますが、製造時に発生するもので、ご使用には差し支えありません。 （スクリュー、フィルター、フローズン用アタッチメント、切り換えダイヤルなど） 

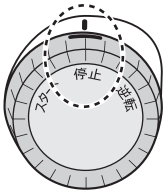
故障かな？(2)

修理依頼やお問い合わせの前にもう一度お調べください

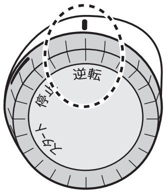
こんな場合	故障ではありません
絞りかすに水分が多い	● フィルターが詰まっていませんか？ (お手入れ 24ページ) ● 切り換えダイヤルを食材に合った正しい位置に合わせていますか？ 「カチッ」と音がするのを確認して合わせてください。7ページ
切り換えダイヤル口からジュースがもれてくる	● ジュースの作り始めは、食材によって切り換えダイヤル口からジュースが出てくるものがあります。 ● 切り換えダイヤルを食材に合った正しい位置に合わせていますか？ 「カチッ」と音がするのを確認して合わせてください。7ページ
ジュースが上手く絞れない ジュースの量が少ない ジュースが出ない	● 果物、野菜(葉物以外)、しょうがは、少しずつ、5秒ぐらいの間隔で投入していますか？ ● 葉物野菜は、投入した食材がすべてタンク内に引き込まれてから、次を投入します。 ● 絞り始めは絞った食材がタンクの中に残るため、投入する食材が少ないと、ジュースが出てこない、またはできあがり量が少ないことがあります。 ● 食材の新鮮さ(水分量)によってジュースの量が異なります。 **ジュース量の目安**　参考例：食材500gを投入したとき りんご　約300g にんじん　約150g 小松菜　約250g オレンジ　約300g (食材の鮮度や収穫時期によって、ジュースの量は変わります) ● 食材によっては運転途中でジュースが出にくくなることがあります。「**逆回転の操作**」29ページ をお試しください。 ● タンクのお手入れが必要かも知れません。 食材にもよりますが、ジュースは2人分(約400mL)、フローズンは投入食材が300ｇ程度を目安に、タンクのお手入れをおこなってください。

逆回転の操作　スクリューが食材を引き込まないときなどにお試しください。

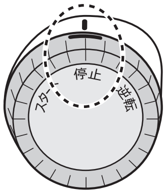
❶ **電源スイッチを「停止」に合わせ、運転を停止させる**



❷ **「逆転」に数秒合わせてスクリューを逆回転させる**
(手を離すと「停止」に戻ります)

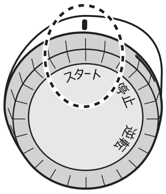


❸ **手を離して、運転を停止させる**



❹ **「スタート」に合わせて数秒間運転する**

タンク内の様子を見ながら、
❶～❹ を数回繰り返す



ご注意

- 必ず、「逆転」で運転した後は、「スタート」に合わせて数秒間運転してください。この操作をしないとタンクからスクリューを取り出すときに、フィルター部分がはずれて落下する場合があります。

「逆回転の操作」をしても、正常に動かない場合は、電源スイッチを「停止」にして、電源プラグを抜きます。本体からタンクをはずし、スクリューを抜いたあと、残った食材や詰まったものを清掃用ブラシ等で取り除いてください。
タンク・スクリューのはずしかた 23 ページ

保証とアフターサービス

修理を依頼されるときは

持込修理

1 「**故障かな?**」(26～29ページ)を調べてください。

2 それでも異常があるときは使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてください。

3 お買いあげの販売店に、ご連絡ください。

この製品は、日本国内用に設計されています。
電源電圧や電源周波数の異なる外国では、使用できません。また、アフターサービスもできません。

保証期間中

- 修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

- 修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

- 修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

保証書(裏表紙にあります)

- **保証期間…お買いあげの日から1年間です。**
  保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
  ※一般家庭用以外(例えば、業務用、車両・船舶への搭載)に使用された場合の故障・損傷など有料です。

補修用性能部品の保有期間

- 当社はスロージューサーの補修用性能部品を製品の製造打切後、7年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

愛情点検

長年ご使用の場合は商品の点検を！
こんな症状はありませんか？

- 電源プラグやコードが異常に熱くなる。
- コゲ臭いにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がする。
- 触れるとピリピリと電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

仕 様

電　源	交流100V　50-60Hz共用		
定格消費電力	100W		
外形寸法※1	幅127mm×奥行195mm×高さ460mm		
質　量	約4.8kg		
1分間当たりの回転数	32回転※2	**運転時間**	連続30分※3
1時間当たりの待機時消費電力量	約1.0Wh	**電源コードの長さ**	約1.4m

※1 高さにはプッシャーを含みます。幅、奥行には、切り換えダイヤル、ジュース出口を含みません。
※2 32回転は、負荷が20Nmのとき。無負荷または軽負荷のときは、約56回転です。
※3 30分以上使用する場合は、30分ごとに5分程度停止させてください。
ただし、固いにんじんや、水分が少ない水煮した大豆、食物せんいが非常に多いしょうがは、連続20分以上の運転をしないでください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。
ファクシミリ送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

※弊社では、確実なお客様対応のため、フリーダイヤル・ナビダイヤルサービスをご利用のお客様に「発信者番号通知」をお願いしています。発信者番号を非通知に設定されている場合は、番号の最初に「186」をつけておかけください。

いつでも便利なWebサービス【シャープオンラインサポート】

ご質問やお困りごとは、気軽にアクセス、しっかりアシスト！

シャープ　お問い合わせ　検索

http://www.sharp.co.jp/support/

スマートフォンや携帯電話はこちらから

インターネットから修理のお申し込みや進捗確認も24時間サポート

シャープ　修理相談　検索

http://www.sharp.co.jp/support/repair.html

スマートフォンや携帯電話はこちらから

使用方法のご相談など【お客様相談室】

受付時間（年末年始を除く）●月曜～土曜：**9:00～18:00**　●日曜・祝日：**9:00～17:00**

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル
0120 - 078 - 178

携帯電話からは、ナビダイヤル
0570 - 550 - 449

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

電話	FAX
06 - 6792 - 1582	**06 - 6792 - 5993**
〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号	

修理や持込修理のご相談など【修理相談センター】

受付時間（年末年始を除く）●月曜～土曜：**9:00～20:00**　●日曜・祝日：**9:00～17:00**

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル
0120 - 02 - 4649

携帯電話からは、ナビダイヤル
0570 - 550 - 447

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

電話	FAX
06 - 6792 - 5511	**06 - 6792 - 3221**
〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号	

※沖縄県にお住まいのお客様については、**那覇サービスセンター**におかけください
電話：**098 - 861 - 0866**（受付時間：年末年始を除く月曜～金曜 **9:00～17:00**）

●お電話は番号をよくお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2016.03)

■ＱＲコードについて
スマートフォンやタブレット端末のバーコードリーダーで読み取ってください。(読み取れない場合は近傍に表記のアドレスを直接入力してください)
誘導されるサイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担になります。ＱＲコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

スロージューサー　EJ-GP1

お問い合わせ先

お問合わせの前にもう一度「故障かな？」(26〜29ページ)をご確認ください。

● お客様ご相談窓口からのお問い合わせ (31ページ)

Webもご活用ください。

● シャープ　お問い合わせ　ジューサー　検索

http://www.sharp.co.jp/support/juicer/

Q&A情報
よくあるご質問などを掲載

ピックアップ情報
特にお問い合わせの多い情報を掲載

シャープ株式会社
本　社　〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
健康・環境システム事業本部　〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号

Printed in Korea
TINSJA016WBRZ 16D- (KR) ①

取扱説明書